



免責事項

この冊子は、日本人及び韓国人の住民や観光客を支援するために交通幹線道路局の協力を得て、クイーンズランド州警察とMulticultural Communities Council Gold Coast(MCCGC)によって作成されました

この冊子はあくまで運転時の目安として使用することであり、印刷時の最新の情報となっておりますので、道路規則が変更されている場合もありますので留意してください。この冊子の内容は公式道路規則に基づいて作成されていますが、公式道路規則の原本ではありません。

長期滞在の方々オーストラリアに移住されている方々に出版物Your Keys to Driving in Queenslandを読んでいただくことをお勧めします。この本はライセンスの運転手を含む全ての運転手のための道路規則手帳であり、クイーンズランド州の運転免許システムや道路規則に関する重要な情報が含まれています。

詳しくは：www.tmr.qld.gov.au をご参照ください。

2014年12月発行

当冊子は、クイーンズランド州コミュニティーロードセイフティー補助金プログラムの補助を受け発行しました。

デザイン担当FMG Design www.fabioiranda.com.au
info@fabioiranda.com.au



般運転情報

シートベルト&チャイルドシート

Q：シートベルトは着用しなければなりませんか？

A：はい、車両内の人はずべてしっかりと固定されたシートベルトを常に着用しなければなりません。

ウイーンズランド州の法律では、運転者は、すべての同乗者（年齢に関わらず）が正しく装着されたチャイルドシートまたはシートベルトを着用していることを確認する義務があると定められています。

衝突事故における負傷の大半は、運転者または同乗者が車内に叩きつけられた際に発生しています。また、車両の外に投げ出された場合には、重傷または致命傷を負う可能性もあります。シートベルトの着用はこうした事故を防ぎ、深刻な衝突事故の際の生存率を最高で50%高めることが出来るのです。

シートベルトに関するアドバイス：

- ・ 子どもたちのよい手本となるよう、運転を開始する前に、同乗者全員がシートベルトを正しく着用しているかを確認しましょう。同乗者（年齢に関わらず）がシートベルトまたはチャイルドシートを着用していない場合、341ドルの罰金および減点3点が科せられる可能性があります。
- ・ 1つのシートベルトを2人以上が同時に利用することはできません。子どもを含め、同乗者全員に正しく固定できるシートベルトが必要です。
- ・ 小さな子どもや乳児は、法的基準を満たした専用のベビー/チャイルドシートと正しく固定できるシートベルトが必要です。





チャイルドシート：

7歳以下のすべての子どもは、サイズや年齢にあった豪州の規格に合致したチャイルドシートを正しく着用することが法律で定められています。正しいチャイルドシートを選択、設置することが大切です。

子どもの生命を危険にさらしたり、あなたの何よりも大切な「積荷」に重傷を負わせたりすることがないようにご注意ください。

子どものシートベルトが正しく装着されていない場合の罰則は、341ドルの罰金および減点3点です。

Q：7歳未満の子どもを助手席に乗せることは出来ますか？

A：車の座席の列が2列以上あるかどうかと子どもの年齢によって異なります。

車両の座席の列が1列のみの場合（例えば、ピックアップ・トラックや配達用バン）、チャイルドシートを正しく着用していれば、年齢に関係なく子どもを前の座席に乗せることができます。ただし、助手席にエアバッグが搭載されている場合には、子どもを乗せることが出来ない場合があります。

一般的に、子どもがカプセルや子供が後方を向いて座るシート等を利用している場合は、エアバッグが搭載されている車両の前の座席に乗せることは出来ません。



車両の座席の列が2列以上の場合

- ・ 車両の座席の列が2列以上の場合、4歳未満の子供を前の座席に乗せることはできません。ブースターシートを利用できる大きさの子どもであっても、3歳の子どもは、前の座席に乗せることはできません。
- ・ - 4歳以上7歳未満の子どもは、他のすべての座席に7歳未満の子どもが座っている場合を除き、前の座席に乗せることはできません。

注意：後部座席にすでに2つのチャイルドシートが装着されており、3つ目を装着するスペースがない場合、子どもが4歳以上7歳未満であれば、非固定型ブースターシート/ブースタークッションを利用することができます。

もしもあなたが子供と共に公共の交通機関を利用し、チャイルドシートが無い場合は、あなたとお子様共にシートベルトを着用しなければなりません。

飲酒、薬物摂取運転

飲酒運転

血中アルコール濃度(BAC)の法定制限値：

BAC0.0(ゼロ)は、「ノーアルコール制限値」です。

BAC0.05以下は、「一般アルコール制限値」です。

免許証の種類	血中アルコール濃度(BAC)法定制限値
- すべてのLearner Licence (仮免許)、P1/P2 Provisional Licence (初心者免許)、Probationary Licence (試験的免許)、Restricted Licence (制限付免許) 所持者 (年齢を問わず) - 初心者免許、試験的免許、正規免許のもとで、一段階上の免許取得に向けて練習中のすべての免許保持者 - RE Motorcycle Licence (RE クラス自動二輪免許) の Provisional Licence (初心者免許)、Probationary Licence (試験的免許)、Restricted Licence (制限付免許)、Open Licence (正規免許) 取得後12ヶ月以内の免許保持者	0.00 (ノーアルコール制限値)
Open Licence (正規免許) 所持者 (ただし、RE クラス自動二輪免許を取得した際には、年齢や所持する運転免許の種類を問わず、取得後1年間は、BACゼロを順守しなければならない)。	0.05以下 (一般アルコール制限値)
以下の車両を運転または監督するすべての運転免許保持者：： - トラック (車両総重量 (GVM) 4.5トン以上のあらゆる車両) - バス (運転者を含め、定員大人12人以上として設計 / 装備されているもの) - 連結式車両、Bダブル、ロードトレイン - 危険物積載の表示義務が発生する量 (Placard Load) の危険物を積載する車両 - タクシー、リムジン、公共交通車両 - けん引トラック、大型車両の誘導車両および護衛車 - 教習官が教習を行う目的で使用している車両 - トラクターなど、特別な設計の車両	0.00 (ノーアルコール制限値)

飲酒は、あなたの安全に運転する能力を損ないます。アルコールはあなたの判断力、視野、運動感覚、反射能力に影響を与えます。また衝突事故を起こすリスクを増大させます。あなたが飲酒し、血中または呼気中のアルコール濃度が、あなたの年齢、所持している運転免許の種類、運転予定の自動車の種類に応じて定められているアルコール濃度を超えた場合、自動車を運転することはできません。

警察は飲酒ならびにドラッグの検査の為に無作為に車を停める権利があります。運転者は、飲酒ならびにドラッグの検査の為に、警察により呼気または唾液の提供を求められる場合があります。運転者は、その場合、警察の指示に従わなければなりません。



飲酒運転に対する罰則は何ですか？

クイーンズランド州では、飲酒運転の違反者はすべて裁判所に出廷しなければなりません。罰金や免許の欠格期間は裁判官の判断に委ねられています。罰則はあなたのBACの数値や以前の罰則有無により重くなる場合があります。

アルコールを飲み過ぎた際には、自動車の点火スイッチに鍵を指したまま、前列座席で睡眠をとることは禁止されています。

薬物

薬物の多くは、あなたの運転能力を損なう可能性があります。薬物があなたの運転能力に与える影響について認識しておくことが重要です。薬物は、視野、気分、判断力、筋肉のコントロール、反射能力、運動感覚、注意力の度合に影響を与える可能性があります。これにより、衝突事故を起こすリスクが高まる可能性があります。また、アルコールと薬物を併用した場合、リスクはさらに高まります。

薬を服用している場合は、医師や薬剤師に相談したり、ラベルの表示を確認するなどして、眠気を催したり、運動能力、判断力、反射能力に影響を与える作用があるかどうかを確認して下さい。

スピード違反

スピード違反は、依然としてクイーンズランド州の死亡交通事故の最大の要因のひとつです。2013年度のスピードに関連した衝突事故による死亡者数は47人に達し、クイーンズランド州の交通事故による死亡者数の17.3%を占めています。

スピード違反とは、表示されている制限速度を超過する速度での運転、または、与えられた運転条件下（例えば、雨、霧、交通量、交通の流れ等）では不適切な速度での運転と定義されています。

スピード違反は危険です。スピードを上げることは、いかなる状況においても安全とは言えません。あなたの運転経験がどれほど豊富であろうと、どれほど良い車に乗っていようと、混雑した街中であろうと、広々とした田舎の道であろうと、スピード違反は停止距離を延ばし、衝突事故のリスクを高めます。

スピード違反は、以下のような結果をもたらす可能性があり、危険を冒す価値はありません。

- ・ 衝突事故によるあなた自身、大切な人々、罪のない道路利用者の死亡または負傷
- ・ 罰金及び車両の修理費の出費
- ・ 減点または運転免許証の失効

集中力の維持

ほんの一瞬の出来事で、集中力を失ってしまうことは少なくありません。だからこそ、ごくわずかな時間であっても運転から気を逸らすことは非常に危険なのです。そのような行為が違法行為に当たる場合もあり、罰金または減点を科せられる可能性もあります。危険な行為はやめて下さい。

運転者の気をそらす以下のような行為は、衝突事故を招く可能性がありますのでご注意ください。

- ・ 車両内で、携帯電話を手で持った通話は違法行為です。—自分や他の人々の生命を危険にさらすだけでなく、万一衝突事故を起こした場合には保険が適用されない可能性があります。
- ・ テキストメッセージの送受信
- ・ 何らかの対応が必要な子ども
- ・ CD、ラジオ、他の音楽機器の変更操作

運転に集中するためのアドバイス

- ・ 携帯電話を使用することが避けられない場合は、通話をしながらも合法かつ安全に運転ができるようにハンズフリーセットを導入しましょう。
- ・ 子どもたちはシートベルトまたはチャイルドシートをしっかりと着用していることを確認し、移動中に退屈しないように用意をしておきましょう。何らかの対応をしなければならないときは、まず車を路肩に停めてから対応するようにしましょう。



疲労対策

目の痛み、目が重く感じる。視界のかすみ。コリや痙攣。反応時間の遅れ。車が道路を蛇行する。

これらは疲労の兆候であり、移動距離の長短を問わず、特に午後2時から午後4時の間と午後10時から午前6時の間に発生することが多いと言われています。これは体が自然に疲れてくる時間帯であり、疲労による衝突事故のリスクがもっとも高い時間帯でもあります。

最良の防御策は、運転の疲労の兆候を認識し、運転を止めることです。休憩を取りましょう。移動時間は予定よりも長くなるかもしれませんが、結果的にはあなた自身または他の誰かの生命を救うことになるかもしれません。

長距離移動の運転の疲労を避けるためのアドバイス

- ・ 定期的に休憩を取りましょう。少なくとも2時間おきに15分の休憩時間、5時間おきにはさらに30分間の休憩時間を取りましょう。
- ・ 休憩エリア、観光スポット、ドライバリーバイバー（運転者のために設けられた休憩所）、公園、ガソリンスタンドなど安全な場所に車を止めましょう。車から降り、足を延ばして、飲食をするようにしましょう
- ・ 運転は交代で行うようにしましょう
- ・ 疲労を感じたら、すぐに車を停めて休憩を取りましょう

ユーターン（方向転換）

U-Turn Permitted（Uターン可）の標識がある場合を除き、信号機のある交差点でのUターンは違法です。 **“U-Turn Permitted”.**

Uターンをする場合には、他の交通を妨げないように譲らないといけません。

スクールゾーン

クイーンズランド州の学校の周辺には、必ずスクールゾーンが設けられています。スクールゾーンがどこにあるかは、学校の付近に設置されている標識でわかります。スクールゾーンでは、通常より低速の速度制限が定められており、スクールホリデーを除く平日の通常午前7時から9時と午後2時から4時の時間帯に適用されます。速度を制限することで、これらの時間帯に道路を利用している歩行者の死亡・負傷事故の危険性を減らすためです。制限速度や時間帯は地域によって異なりますので、標識は常に注意深く確認しましょう。

校舎が道路を挟んで両側にあり、生徒が校舎間の移動で道路を渡ることがある場合は終日スクールゾーンの所があります。

複数車線道路では、車両の通過に伴って表示が点灯する標識を使って、運転手に減速し、スクールゾーンの速度制限を守るよう注意を喚起しています。

この標識に注意しましょう：



運転交通規則

運転免許証

Learner's Permit (仮免許)、Provisional Driver License (初心者免許)、または、正規免許 (Open Driver License) を取得した者は、運転中はいかなる時も免許証を携帯していなければなりません。

警察官に仮免許証または運転免許証の提示を求められたときは、提示しなければなりません。

Q: 外国で取得した運転免許をもってクイーンズランド州で運転することは可能ですか？

A: はい。ただし、有効な外国の運転免許でクイーンズランド州の路上を運転する場合には、以下を満たしていなければなりません：

- ・ 運転できる自動車の種類は、運転免許証に記載されている種類に限る
- ・ 運転免許証に記載されている条件に従う
- ・ 警察の認定職員に運転免許証の提示を求められた場合は、それに従う

運転免許証の記載が英語以外の場合、認定翻訳者による運転免許証の英訳を携帯する必要があります。

以下の場合、外国の運転免許証にてクイーンズランド州内で運転する権利は取り消されます：

- ・ 安全に運転することが医学的に困難になった場合
- ・ オーストラリア市民で、クイーンズランド州にすでに3ヶ月間居住している場合
- ・ オーストラリア市民ではないが、クイーンズランド州に居住する以前に居住ビザを取得し、クイーンズランド州にすでに3ヶ月間居住している場合
- ・ オーストラリア市民ではないが、クイーンズランド州で居住を始めた後に居住ビザを取得し、ビザ取得後にクイーンズランド州に3ヶ月間居住している場合
- ・ 実地テストにパスしなかった場合

注意：居住ビザはMigration Act 1958 (Commonwealth) (連邦移民法1958) に基づく永住ビザもしくは特別カテゴリービザを指します。学生ビザなどのように定められた期間、または、特定の出来事が発生するまで、または、特別な身分をもってオーストラリアに滞在することを許可するビザは、永住ビザまたは特別カテゴリービザに該当しません。



道路標示線

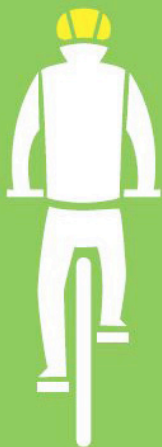
同じ方向に向かう2車線の道路で、制限時速が80km以上の場合、右側車線は他の車両を追い越すときにのみ走行できます。また道路の中央に2本の平行した線（二重線、実線、平行線、点線）がある場合、車両のいかなる部分もその白線上を走行したり、自転車を追い越す場合以外、白線を越えたりすることはできません。

自転車の追い越しの際の距離

道路は自転車も走行しています。

- ・ 運転者は自転車を追い越す際、常に安全な距離を維持してください。
- ・ より安全を確保する為に、クィーンズランド州政府は新しい交通規則を導入しました。車が自転車を追い越す場合、制限速度 60 km/h 以下の場合には最低 1 m 自転車との間を空けること。また、制限速度 60 km/h 以上の場合には 1.5 m 自転車との間を空けることを義務付けています。
- ・ 新しい規則では、車の運転者は自転車を追い越す場合に限り、中央線を越えることを認めています。これには二重実線、ストラドル・レーン、ペイントアイランドも含まれます。
- ・ 信号で停止している際に、隣に自転車がきたら、先に自転車を走らせ、その後安全を見極めて追い越しをするようにしましょう。
- ・ 自転車との適切な最低限の距離を保てない運転者は、警察により罰金が科せられる場合があります。

Stay wider of the rider



60 and under

1 metre

Over 60

1.5 metres



過度の騒音、携帯電話、レーダー探知機

Mobile phone

携帯を手にとって運転することは違法です。電話を受けること、テキストメッセージを打つこと、その他のあらゆる電話の機能を使用することが含まれます。信号で止まっている場合も含め、携帯を手に乗っていた場合、罰金が科せられます。

オープンライセンスのドライバーはハンズフリー携帯を使用できます。しかし、幾つかの免許のタイプはハンズフリーを含め、携帯電話の使用が禁止されています。例えば仮免中や25歳以下のP1ライセンス保持者などです。また、これらの免許を持つドライバーの乗客や運転責任者が携帯のスピーカー機能を使用することも禁止されています。

どのような携帯電話も運転の障害となりえます。あなたが運転する場合、携帯電話の電源を切るか、マナーモードにするか、手の届かないところに置くことをお勧めします。



Stereo

自動車を運転する際には、騒音を出してはいけません。例えば、エンジンの回転速度を上げたり、ドリフトでタイヤをきしませたりして、騒音を出してはいけません。車両にラジオやステレオがある場合は、運転中または路上に停車中に大音量で聴いてはいけません。



Radar detector

いかなるときでも車両内にレーダー探知機を搭載することは違法です。



停止

Stop（停止）の標識の前では、一旦停止し、すべての通行車両および歩行者（歩いたり走ったりしている人々）に道を譲るまでは、先に進むことはできません。

停止位置を記す実線を徐行速度で通ったり、跨いで停車してはなりません。必ず実線手前で完全に停止させてください。

WIDE LOAD（幅広の積み荷）の標識を付けた対向車が来て運転手があなたと道路の端を指さしたら、必ず速度を落とし、車両を路肩に寄せて停止し、WIDE LOAD車両が追加するまで待ってください。

法律で定められた指示に従う

警察官およびDepartment of Transport and Main Roads（運輸・幹線道路省）の検査官が手信号を使って、道路の利用者に指示を出す場合があります。警察官が出す指示は、Give way（道を譲る）やStop（停止）の標識や信号より優先します。あなたはこれらの合図および与えられた指示を必ず守らなければなりません。



ラウンドアバウトの交通規則

ラウンドアバウトは道路上の交通の流れの管理を補助するもので、単一または複数車線のものがあります。

道を譲る－ラウンドアバウトに接近したら、減速して下さい。すでにラウンドアバウトに進入しているいかなる車両にも道を譲らなければなりません。道を譲るとは、ラウンドアバウトの中の車両が安全に通過できるように減速または必要に応じて停止することを指します。

ラウンドアバウトの交通安全

オートバイや自転車に注意し、ラウンドアバウト内での彼らのニーズに配慮して下さい。自動車と比べて、視界に入りにくいことがあることを忘れないで下さい。

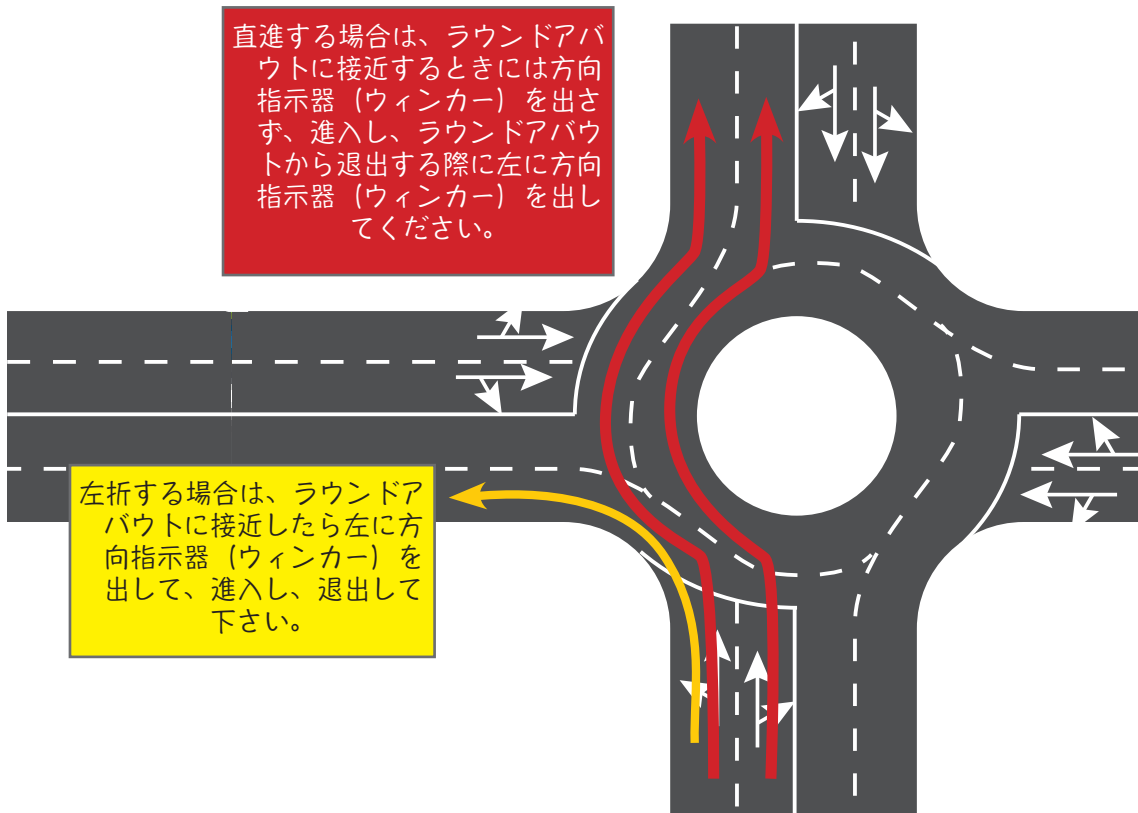
ラウンドアバウト内のトラックやバスに注意して下さい。大きな車両は曲がる際により多くのスペースを必要とするため、車線をはみ出す場合があります。ラウンドアバウト内では可能な限り、近づかないで下さい。

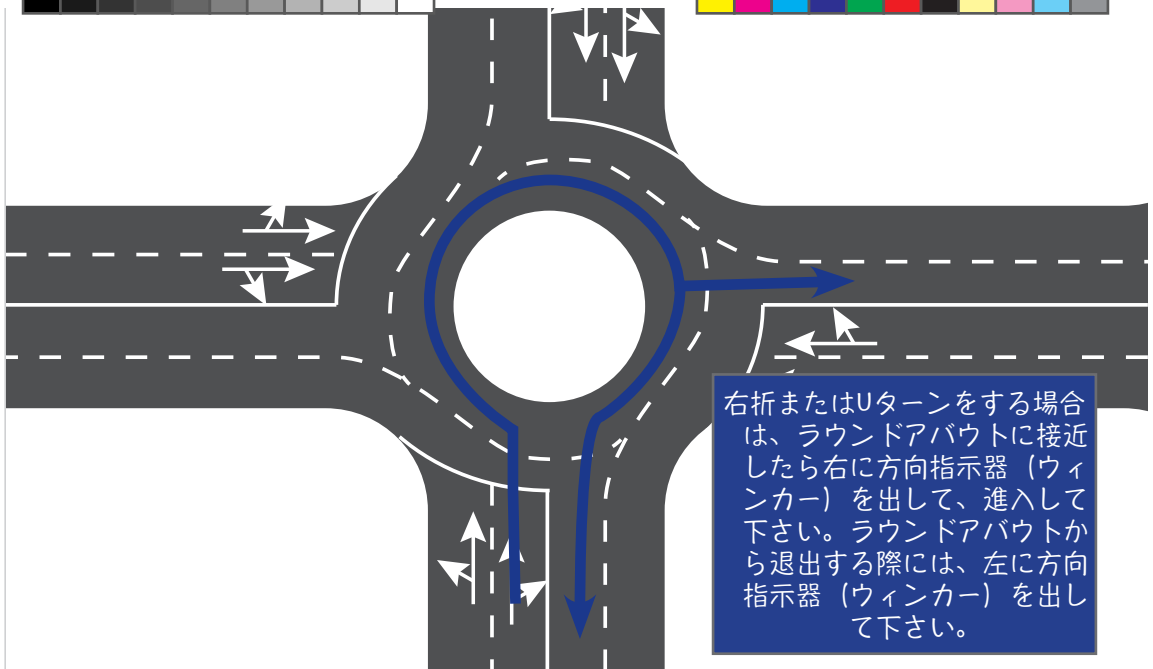
ラウンドアバウトには様々な大きさのものがあります。単一車線のものもあれば、複数車線もあり、どこを走行すればいいかを示す路面標示がある場合もあります。

ラウンドアバウトでの方向指示

直進する場合は、ラウンドアバウトに接近するときには方向指示器（ウィンカー）を出さず、進入し、ラウンドアバウトから退出する際に左に方向指示器（ウィンカー）を出して下さい。

左折する場合は、ラウンドアバウトに接近したら左に方向指示器（ウィンカー）を出して、進入し、退出して下さい。





複数車線

複数の車線があるラウンドアバウトに接近するときには、どの車線を走行するべきかを示す路上標識に従って下さい。

路上標識が異なる表示をしている場合を除き、下記に従ってください。

- ・ 左折する場合は、左側の車線で接近、進入、退出して下さい。
- ・ 直進する場合は、いずれの車線を使っても構いません。
- ・ 右折またはUターンをする場合は、右側の車線で接近、進入、退出して下さい。

安全に支障がない限り、ラウンドアバウトの中で車線変更を行っても構いません。

ヘッドライト

ハイビームを利用する場合は、対向車が見えたら直ちにライトをロービームに切り替え、対向車が通り過ぎるまで下向きを保ってください。また、別の車両の後方を運転する場合は、ヘッドライトは必ずロービームで点灯してください。

駐車

買い物をする間、車の中に鍵を残し、エンジンをかけたままにすることはできません。

車椅子の標識があるスペースは、駐車許可証を持っている場合を除き、駐車することはできません。



道路の中央にあるセンター駐車エリアに駐車し、退出するときには、必ず前進で駐車場を退出して下さい。

縁石付近の道路上に黄色の実線が塗装されている場所には駐車はできません。

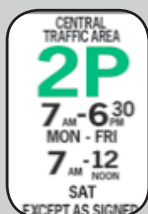
駐車標識はしっかりと確認しましょう。



この標識のある区域は、終日駐車禁止です。同乗者の乗り降りまたは荷物の積み降ろしの場合のみ最長2分間（標識にさらに長い時間が表示されている場合を除く）の停車が可能です。車両を放置してこの場を離れることはできません。



この標識のある区域は、公的な指示に従う場合を除き、終日停車禁止です。公式な指示とは、信号の指示または安全確保のための駐停車を含みます。



駐車できる区域かそうでないかは、駐車標識に示されています。これらの標識には、いつどれくらいの時間駐車できるかが明記されている場合もあります。例えば、この駐車標識は、この道路区域では、月曜から金曜の午前7時～午後6時30分および土曜の午前7時～正午12時の駐車時間は最高2時間までであること、ただし、それ以外の時間帯の駐車には制限がないことを示しています。



以下の場合を除いて、Loading Zone（積み下ろしゾーン）で停止することはできません。



- ・ バスの乗客の乗り降り
- ・ トラックの乗客の乗り降りもしくは荷物の積み降ろし
- ・ 商用車両識別ラベルの表示のある車両
- ・ 荷物の積み降ろしを行うすべての車両（20分以内）
- ・ 乗客の乗り降りを行うすべての車両（2分以内）



道路区域での車両の停車は認められていません。この標識は、通常、交通量のピーク時に適用されるもので、適用される時間帯は標識に記載されています。Clearway（駐停車禁止道路）に駐停車した場合は罰金が科せられ、レッカー移動させられる可能性があります。

オートバイ

クィーンズランドでは50ccを超えるバイクまたはスクーターは特別なバイクの免許を持たない限り、自動車の免許で運転することは出来ません。

モーターサイクル（バイク）用に認可されたヘルメットを着用し、しっかりと固定することが求められます。自転車やその他の安全ヘルメットは認められません。

モーターサイクル（バイク）の免許を保有して1年以上経った場合は後ろに人を一人乗せることが可能です。運転の練習中の場合は乗せることは出来ません。

モーターサイクル（バイク）には同乗者用の足載せとシートが必要です。同乗者も認可されたモーターサイクル用のヘルメットを着用する必要があります。

モーターサイクルやスクーターを運転する際に大きな荷物を持つことは出来ません。

認可されたヘルメットは Australian Standard AS1698 または AS/NZS 1698



その他の情報：

<https://www.qld.gov.au/transport/licensing/motorcycles/licence-types/index.html>

<http://www.tmr.qld.gov.au/Safety/Motorcycle-safety/Motorcycle-safety-gear.aspx>

<https://www.qld.gov.au/transport/licensing/motorcycles/passengers/>

その他のサイン



注意 この先にラウンドアバウトあり



注意 カンガルーが路上にいるおそれあり



注意 浮石による被害のおそれあり



ラウンドアバウトの交差点



左折する際には歩行者および他の車両に道を譲らなければならない



長い車両の追い越し

DO NOT OVERTAKE TURNING VEHICLE (旋回中の車両追い越し禁止) の表示を掲げた車両が右折または左折する意図を表示している場合は (安全に支障がない場合を除き) 追い越しをしてはいけません。



道路上の矢印が指している側を走行しなければならない



この車線はバスのみ走行可



運輸省が発行する身体障害者認定許可証を持っている者以外は駐車してはならない



ここではいかなるときも停車してはならない



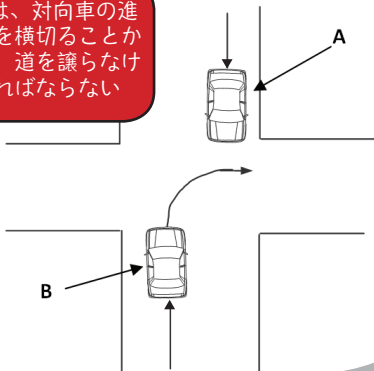
注意 牛が道路上にいるおそれあり



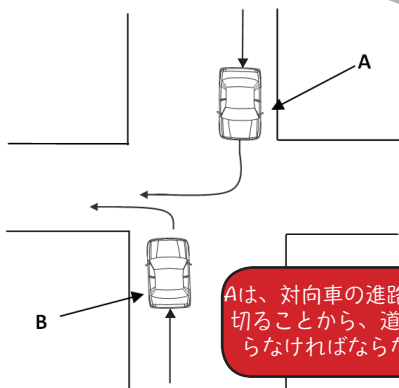
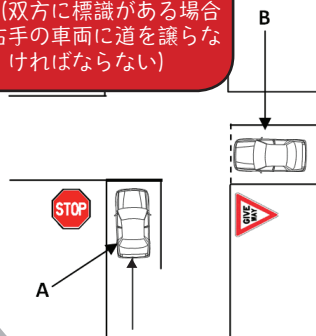
注意 左車線はこの先通行止め

左折

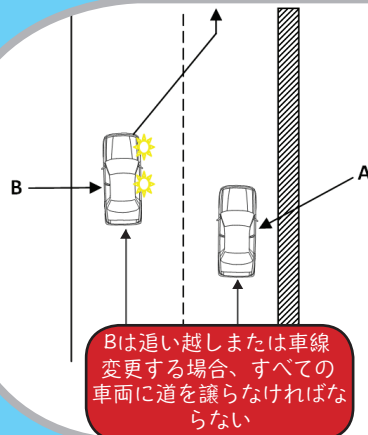
Bは、対向車の進路を横切ることから、道を譲らなければならない



Aは道を譲らなければならない（双方に標識がある場合は右手の車両に道を譲らなければならない）

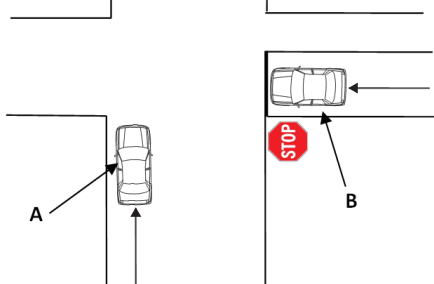


Aは、対向車の進路を横切ることから、道を譲らなければならない

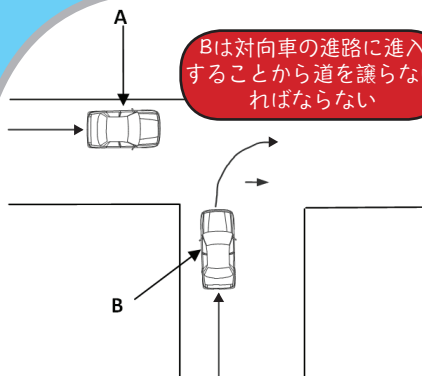


Bは追い越しまたは車線変更する場合、すべての車両に道を譲らなければならない

Bは道を譲らなければならない（一時停止標識があるため）



Bは対向車の進路に進入することから道を譲らなければならない



一般テストをさらにご覧になりたい方は以下をご参照下さい：
<https://www.service.transport.qld.gov.au/rrtexternal/SelectExam.jsp>

トランジット車線

トランジット車線の適用時間内（時間は標識に明記されています）には、標識で定められた最少人数（運転者を含めて）を乗せた車両およびバス、タクシー、リムジン、自転車、オートバイを除いては、トランジット車線を走行することはできません。



トランジット車線 T3-最少3名



トランジット車線 T2-最少2名

踏み切り

踏み切り付近での道路交通規則の違反は、致命的な交通事故を引き起こすことになりかねません。鉄道は重く速度も速いため、踏み切りでの衝突事故は、一般的に他の種類の衝突事故よりも深刻な場合が多いのです。



踏み切りでの停止と道の譲り方

STOP（停止）の標識またはSTOP（停止）ラインでは停止し、踏み切りに接近中または進入中の列車に道を譲らなければなりません。

踏み切りの進入、退出

以下の場合、踏み切りに進入してはいけません：

- ・ 警告灯、警告ベル、遮断ゲートが作動中のとき
- ・ 踏み切りに接近中の列車が見える、または、その音が聞こえるとき
- ・ 踏み切りの先の道が詰まっている、または、車両全体が直ちに踏切を通過することができないとき。踏み切りは安全に支障がない限りなるべく早く通過しなければなりません。





緊急車両

警察車両、消防車、救急車は緊急車両です。緊急車両が接近中でサイレンを鳴らしたり、赤や青色のライトを点灯している場合は、安全に支障のない範囲で出来るだけ早く緊急車両の進路の外に移動する必要があります。

あなたは：

- ・ 減速し
- ・ 緊急車両が道路中央を通過できるように道路の左側に車両を寄せる。それができない場合
- ・ 安全に注意しながら左側に移動し、緊急車両が追い越すまで待機する。
- ・ 急に車両を移動したり、違法な方向転換をしてはならない。
- ・ 緊急車両の進路に入ってはいけない。

交差点上での緊急車両：

緊急車両が交差点を通過する際には、一旦停止または減速し、安全に交差点を通過できるか確認をする場合が多いものです。あなたが青信号（矢印を含む）の前にいたとしても、緊急車両がサイレンを鳴らしたり、赤や青色のライトを点灯させているときは、仮に車両が停止・減速したように見えたとしても、必ず道を譲り、緊急車両の進路を妨げる行為をしてはなりません。前方やバックミラーを定期的に確認し、緊急車両に注意しましょう。



交通事故に関わった場合にどうすればいいか

- ・ 直ちに車両を止め、負傷者がいればサポートをして下さい。負傷者がいる場合、車両の損傷が大きい場合、車両のけん引が必要な場合は、警察に通報しなければなりません。
- ・ 事故に関わったすべての運転者及び車両の所有者、その他事故により所有物の被害を受けた人々の氏名および住所を交換しましょう。



- ・ 以下の場合にも、警察に事故を通報しなければなりません。
 - ・ 他の運転者が自身に関する必要情報を告げることを拒否した場合、事故の後に停止しなかった場合。この場合には、車両の登録情報（ナンバープレート）、車両や運転者の特徴を、可能な限り控えておくようにしましょう。
 - ・ 運転者がアルコールまたは薬物の影響下にあることが疑われる場合。

詳しくは

<http://www.tmr.qld.gov.au/Safety/Queensland-Road-Rules/Road-rules-refresher.aspx>

をご参照ください。

自動車の売買

移転登録（名義変更）

Registration Transfer form（移転登録用紙）は、買い主と売り主の双方の記入が必要です。移転登録を行うには以下が必要です：

- ・ 必要事項が記載された移転登録用紙
- ・ 以前の車両登録証（Registration Certificate）
- ・ 販売価格の記載された売り主の署名入り領収書（移転登録される中古車のオドメータ（走行距離計）の測定値も含める）
- ・ 売り渡し日
- ・ 売り主の詳細情報
- ・ 買い主の身分証明書
- ・ Safety Certificate（安全証明書）およびGas(LPG)Certificate（ガス(LPG)証明書）”（該当する場合）

個人間売買の場合の移転登録は、買い主の責任において行うことになります。ディーラーから中古車を購入する場合は、ディーラーに移転登録を行う義務があります。

安全証明書

クイーンズランド州で登録されている車両を販売する場合は、現状の安全証明書を取得しなければなりません。現状の安全証明書を提示しなかった場合には、相当額の罰金が科せられることがあります。

安全証明書なしでは移転登録は完了できません。このため、買い主には購入を決定する前に安全証明書が有効であるかどうかを確認することをお勧めします。

安全証明書を提供し、また証明書の発行に必要な修理を事前に済ませておくことは売り主の法的義務です。

なお、未登録の車両の場合は、売り主に安全証明書を提示する法的義務はありませんが、買い主自身のために請求することをお勧めします。

買い手のチェックリスト

- ・ 車両には、現状のクイーンズランド州安全証明書がある。
- ・ 安全証明書は、車両に掲示されている。
- ・ 安全証明書には、証明書を発行した認定検査所の名前が記されている。
- ・ 安全証明書は、有効期限内である。
- ・ 独立した自動車整備士によって車両の点検が行われている。
- ・ 売り主は、売り主の名前の記されたregistration certificate（登録証明書）を持っている（ただし、これは法的な所有者であることを証明するものではない）。
- ・ 購入する車両に担保権が付いていないかを確認するには、Personal Property Securities Register（個人資産の担保登録簿）の検索機能を利用するとよい。確認は、ウェブサイトwww.ppsr.gov.au、または、電話1300 007 777によって行うことができる。例えば、返済が完了していない車両を購入した場合、車両は売り主に購入費を貸した債権者に回収される可能性がある。注意：この検索では、車両が盗難車または廃車として届けられているかどうかを確認することができる。
- ・ 自動車ガスで走行する場合、または、ガス装備やシステムを搭載している場合には、GAS Certificate（ガス証明書）が必要になる場合がある。
- ・ 移転申請用紙の必要事項が記入され、あなたと売り主によって署名されていることを確認し、Department of Transport and Main Roads（運輸・幹線道路省）に提出する。

FOR SALE
FOR SALE
FOR SALE

警察

どのようなときにトリプルゼロ（000）に通報するべきでしょうか

- ・ 今まさに犯罪が進行中の場合
- ・ 生命が危険にさらされている場合
- ・ 一刻を争う場合（例：火災）

言語または聴覚障害がある場合はどうすればいいですか

言語障害または聴覚障害がある場合は、電話番号106のNational Relay Service（ナショナル・リレー・サービス）経由でトリプルゼロサービス（000）にアクセスすることができます。

トリプルゼロ（000）に通報したら、どうなるのですか

- ・ トリプルゼロ（000）にダイヤルすると、Telstra Emergency Call Service Centre（テルストラ緊急コールサービスセンター）に接続されます。
- ・ テルストラのオペレーターが、あなたが必要なサービス（警察、消防車または救急車）をお聞きします。
- ・ あなたは、援助を必要としているサービスをオペレーターに告げます。
- ・ あなたの電話は、あなたがリクエストした緊急サービスにすみやかに接続されます。

あなたが会話のできない状況にあり、オペレーターに返答をしない場合には、自動音声システムに切り替わり、引き続き援助を必要としている場合には電話機のキーボードで”5 5”を押すように指示されます。”5 5”を押すと電話は警察に転送され、警察が最適な対応を決定します。

緊急でない場合は、どのように警察に通報すればいいのですか

- ・ 緊急ではない所有物に関する犯罪や緊急ではない事件を通報するには、Policelink (ポリスリンク) 131 444までお電話下さい。(毎日24時間対応)

今まさに犯罪が進行中、生命の危険にさらされている、容疑者が近くににいるといった場合を除く、緊急ではない援助を必要としている場合は、ポリスリンク1300 444までお電話下さい。一般的なお問い合わせについても、ポリスリンクまでご連絡下さい。



緊急ではないが、警察に連絡を取りたい場合の例：

- ・ 故意の所有物損壊、窃盗、住居侵入、盗難車、落とし物の通報、緊急ではない一般的なお問合せなどは、ポリスリンク131 444までお電話下さい。
- ・ 質問やアドバイスを求める場合
- ・ 過去の出来事を通報する場合
- ・ 特定の警察官や警察署に連絡を取りたい場合
- ・ 苦情の申し入れ

クライムストッパーズは、一般市民が、犯罪活動に関する匿名の情報を提供することができる電話ホットラインです。

Crime Stoppers (クライムストッパーズ) 1800 333 000までご連絡下さい。1800 333 000 (毎日24時間)



クライム・ストッパーズは、一般市民が、犯罪活動に関する匿名の情報を提供することができる電話ホットラインです。クライム・ストッパーズ・クイーンズランドは、クイーンズランド州警察と提携して活動を行っている登録チャリティー団体及びコミュニティ・ボランティア組織です。